




2026年5月18日

各 位

会 社 名  日本リーテック株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 久保 公人
(コード番号 1938 東証プライム)
問合せ先 取締役常務執行役員企画部長 澤村 正彰
(TEL. 03-6880-2710)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（アップデート）

当社は、2026年5月18日開催の取締役会におきまして、「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について、改めて現状分析・評価を行い、改善に向けた方針、取り組みをアップデートいたしましたので、別紙のとおりお知らせいたします。

以 上



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について (アップデート)

証券コード 1938

日本リーテック株式会社

2026年5月18日

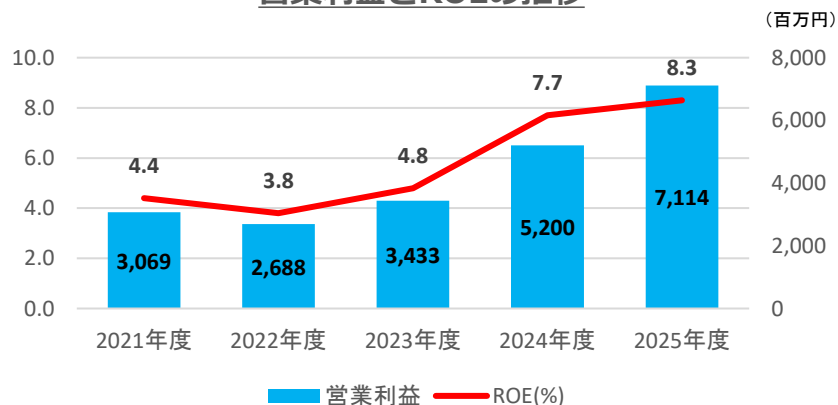
<https://www.j-rietec.co.jp/>

1. 当社は2023年12月21日に「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」を公表し、その後、2025年5月12日にその内容をアップデートしました。
2. 今般、2026年5月12日に公表しました「中期経営計画2027」における初年度の進捗状況を踏まえ、この1年間における「資本コストや株価を意識した経営」への取組み状況をアップデートすることとしました。
3. 各種事業戦略や資本政策への取組みなどにより、経営指標等の各種数値については改善傾向にありますが、株主・投資者の皆さまからのご期待には届いていない状況であります。
4. 当社は引き続き各種課題解決への取組みを通じて、「株主・投資者の皆さまからの期待に応え、選ばれる企業」の実現を目指してまいります。

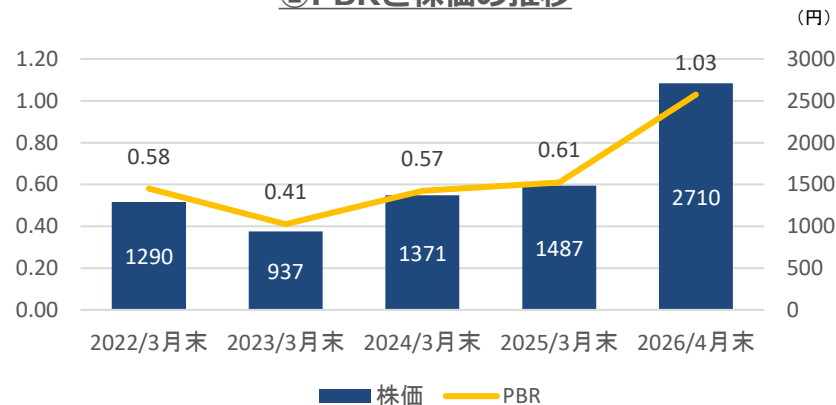
・ 当社は、2025年5月12日の「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」のアップデートや「中期経営計画2027」の公表以降、様々な取組みにより資本収益性、市場評価ともに改善傾向にはありますが、未だ不十分な水準であり継続課題であると認識しております。

指標	現状認識	課題
資本収益性	<p>【 ROE(8.3%) < 資本コスト(8.6%) 】</p> <p>> ROEは8%を超過するも未だ資本コスト以下の水準</p>	<p>収益力の強化 / ROEの更なる改善</p>
市場評価	<p>【 PBR(1.03倍) ≒ 1.0倍 】</p> <p>> PBRは1倍超もプライム上場企業平均(1.5)には未達</p>	<p>成長力強化 / 株価の更なる向上</p>

① 営業利益とROEの推移



② PBRと株価の推移



直近1年間の取組みの成果①（収益力強化・成長投資など）

- 「中期経営計画2027」で掲げた4つの事業戦略への取組みや成長投資の実践、採算性向上への取組みなどにより、受注高の向上、新規分野での案件獲得、利益率や営業CFの改善などが実現、複数の項目で中計最終年度の目標値を前倒して達成しました。

主な取組み

①大型受注工事の獲得

- 幕張車両センター連動装置取替等【鉄道】
- 東北本線盛岡駅信号設備改良等【鉄道】
- 首都高新高大宮上尾道路設備新設等【道路】
- 東京国際展示場電気設備改修等【屋内外】
- 出羽幹線鉄塔新設等【送電線】

②新規分野への事業展開

- 系統用蓄電池設置工事への参入
- データセンター関連工事への参入

③施工力の強化

- 子会社合併・NR電気システム発足
- 人事制度改革によるエンゲージメント強化

④生産性の向上

- 新たな技術開発による生産性向上
- DXを活用した業務効率化

※中計最終年度の目標値を2026年/3月末で前倒し達成した実績を赤字で表記

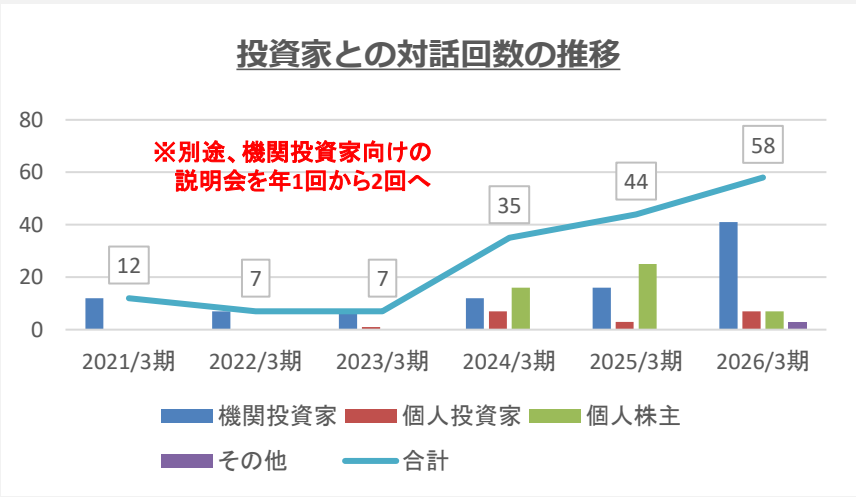
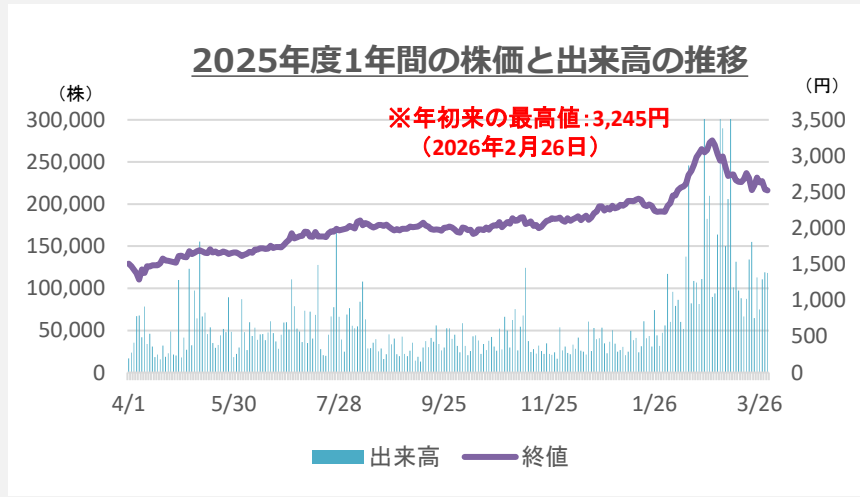
経営指標・KPI	中計最終年度の目標値	2026年/3月末時点の実績
連結売上高	775億円	740億円
連結営業利益	65億円	71億円
連結営業利益率	8.4%	9.6%
ROE	8.0%	8.3%
1人あたりの完成工事高	80百万円	80.6百万円
1人あたりの営業利益	7百万円	7.2百万円
新規参入受注高	3年累計30億円	34億円
営業キャッシュフロー	3年累計100億円	初年度47.4億円
成長投資	3年累計50億円	初年度27億円
株主還元	DOE：3.2%水準	DOE:3.6%水準へ

直近1年間の取組みの成果②（市場評価向上など）

・中間期では初めてとなる機関投資家向け説明会の開催、機関投資家や個人投資家との面談機会の増加などIR活動を強化するとともに、投資家が求める「株主還元強化」「流動性向上」に対する取組みなどにより、株価や出来高の向上を実現しました。

- ### 主な取組み
- ①株主還元指標としてDOEを採用
-安定的かつ累進的な配当還元を実現
 - ②株式の売出しを実施
-政策保有株式の持合縮減、流動性の強化

主な成果指標	2024年度	2025年度
年度末株価	1,487円	2,521円
月間平均出来高(3月単月)	32,393株/日	60,999株/日
投資家との年間対話回数	44回/年	58回/年



株主還元強化

- この1年間の取組みにより、収益力（稼ぐ力）が改善していることを踏まえ、株主還元についても強化します。

収益力は改善、営業利益は中期経営計画最終年度の目標水準を前倒して達成

ROEについても中期経営計画最終年度の目標としていた「8%」を前倒して達成

ROEの目標達成に伴い、配当還元水準についても見直しが可能な水準へ

稼いだ資金は中期経営計画で掲げた通り、配当還元と成長投資を中心に活用

当初計画の配当還元指標：DOE3.2%
(DOE = ROE × 配当性向)

ROE目標：8%

配当性向：40%

見直し後の配当還元指標：DOE3.6%
(DOE = ROE × 配当性向)

ROE目標：9%

配当性向：40%

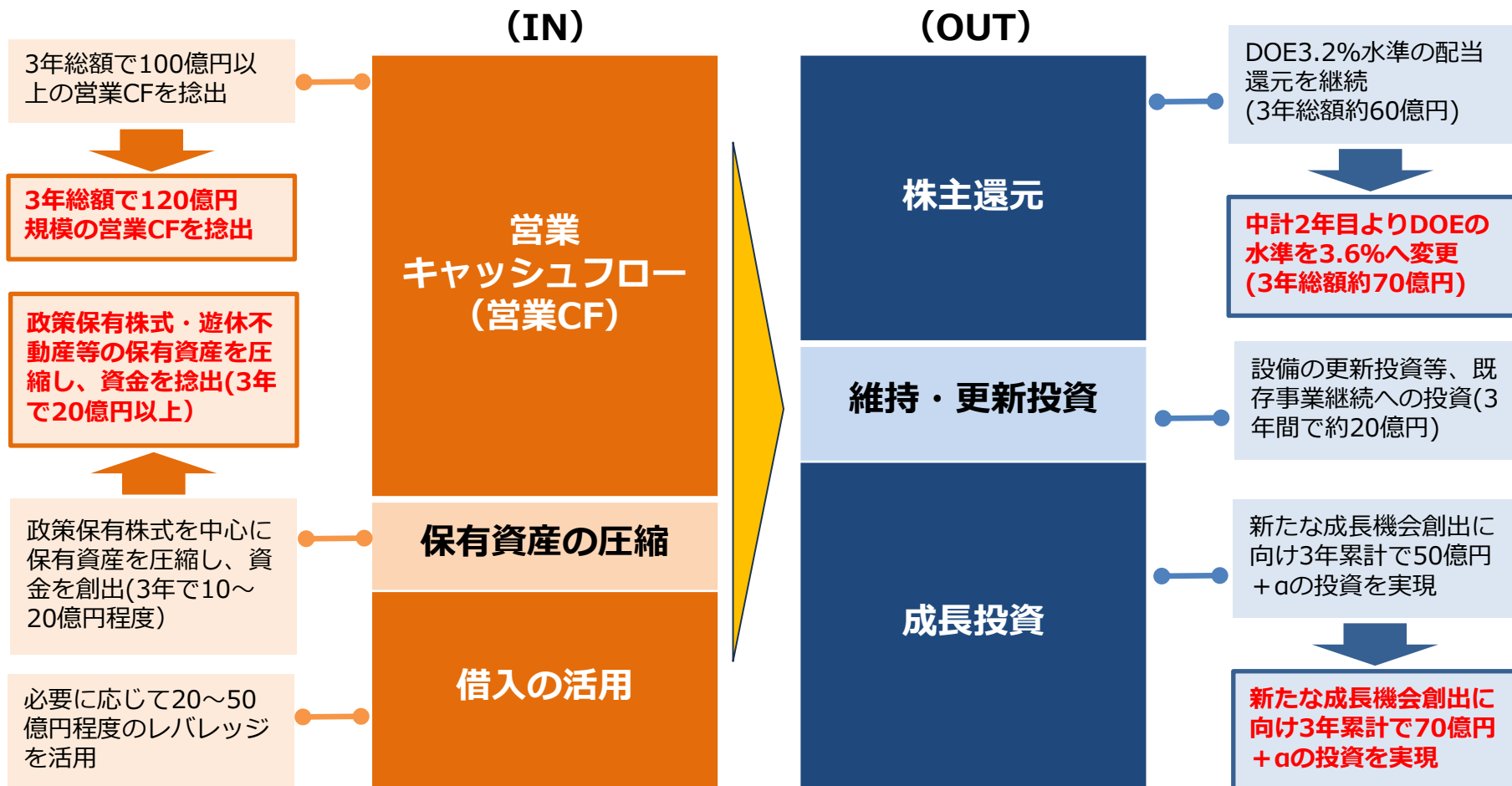
	2026/3月期	2027/3月期
DOE	3.2%	3.6%
1株当たり配当金	82円	97円
年間配当総額	20億円	24億円

※2027/3月期より中間配当制度を導入

キャピタルアロケーション



・2025年度の営業キャッシュフローや成長投資の実績、DOE水準の見直しなどを踏まえ、キャピタルアロケーションについても以下の通りの見直しを行い、引き続き資金の有効活用に努めてまいります。



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応（まとめ）



- ・改善途上であり、引き続き当社の継続課題である「収益力強化」「成長力強化」に対し、「中期経営計画2027」で掲げた4つの事業戦略などの更なる取組強化を実現すべく、経営指標・KPIのアップデートを行い、それを達成することで資本収益性と市場評価の向上を実現します。

継続課題

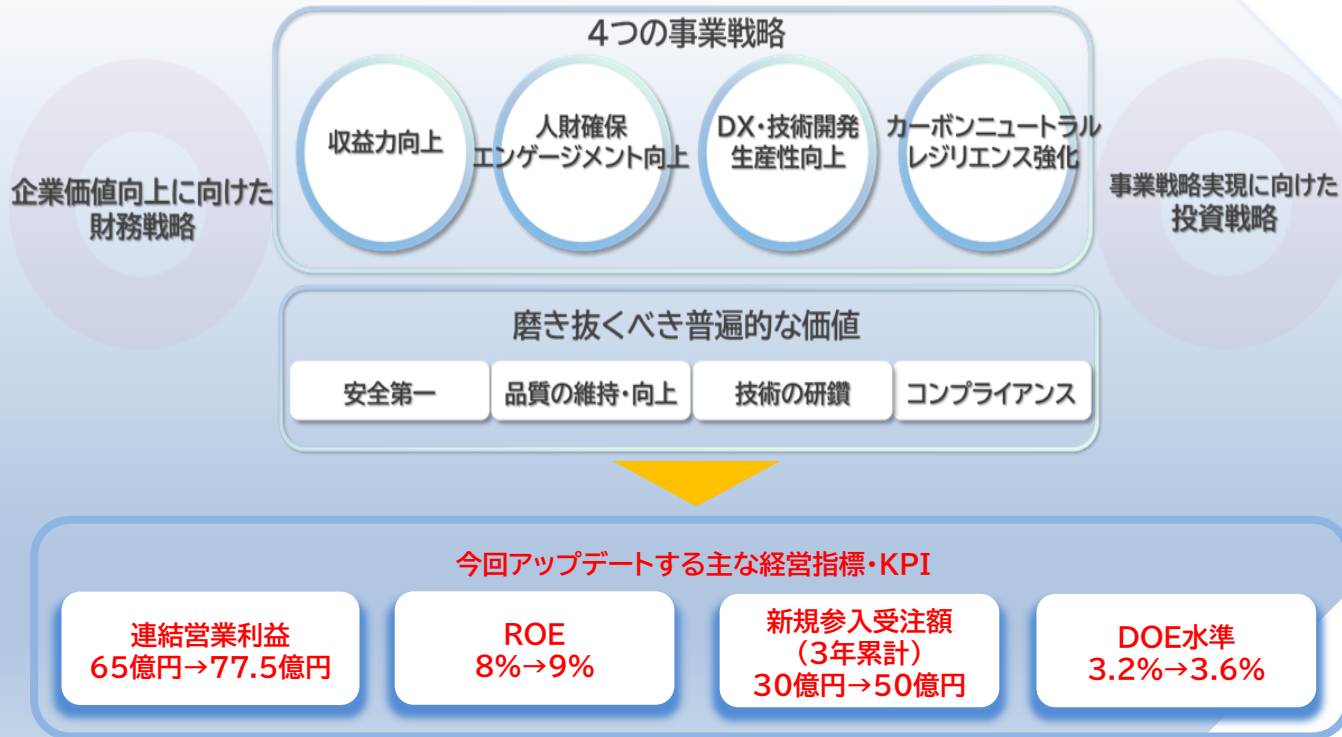
4つの事業戦略と財務戦略/投資戦略への取組を更に強化

実現

収益力強化

成長力強化

資本収益性・市場評価の向上



この資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載されている情報は作成時点のものであり、不確定要素を含んでおります。

従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えいただき、投資に関する最終的な判断は、投資家ご自身の責任で行っていただくようお願いいたします。当社およびその関係者は、本資料の利用により生じたいかなる損害についても責任を一切負いません。